JA長野厚生連 富士見高原医療福祉センター

高原だより

2026
No,172

11/12



柿（第3駐車場）

富士見高原病院＊広報誌＊Contents No,172 ●もくじ

巻頭エッセイ……2
統括院長　髙木宏明
創立100周年記念
第23回病院祭開催……3
医療トピックス……4
冬の体調不良に漢方！
病院トピックス……6
新任医師を紹介します
事業部トピックス……8
お祭りで心踊る非日常を
みんなの健康教室
創立100周年特別記念講演会……10
診療所外来案内……11
病院外来案内……12

ホームページ

LINE（採用担当）

Instagram

●病院の詳しいご案内は→http://www.fujimihp.com/

100周年記念行事を振り返って

10月10日、土曜日でした。朝から大変よく晴れていました。

この日、JA信州諏訪の富士見での恒例の農業祭がにぎやかに開かれ、そして同時に私たち富士見高原医療福祉センターの原点である「富士見高原療養所」が開設されて100周年のお祝いの行事を、第23回の病院祭と同時に行いました。

お天気も幸いして、富士見高原病院の病院祭の会場には例年を上回る1,000人の方がおいでくださいました。ご家族連れで病院前のお祭り広場や院内の各ブースを回ってくださった方々、ありがとうございました。お楽しみいただけたでしょうか?

日頃ユニフォームを着て業務にいそしんでいるスタッフらの、いつもとは違う別の表情に接して、より親しみを、あるいはより頼もしさを感じてくださったなら大変うれしいですし、各会場の展示や催しが何ほどか役に立ったと思ってくださったなら、スタッフ一同の喜びです。

病院祭は、こうして病院の職員と病院そのものをさらに身近に感じていただき、同時に健康や医療のことなどについて考えを及ばせる機会にしていただく、またもしものときにかかりやすい関係づくりが、最終的な目的になるからです。

併せて100周年という特別な年に当たって、この日はこれまでの100年を振り返り、この地域とこの地域で暮らしてこられたみなさんや、さらにもうすでに鬼籍に入られた幾多のみなさまと、そして私たち病院・施設の職員とその幾多の先輩たちが、どのように関係性を紡いできたのだろうか、それに思いを馳せる機会となりました。

そしてこれからさらに次の100年、富士見や原、茅野、伊那、辰野、北杜(私たちのセンターを利用される方々は主にこれら市町村の方が中心です)の地域やそこでの暮らしはどう変わっていくのでしょうか。また私たちセンターの医療・介護・福祉のあり方はどう変わっていけばいいのでしょうか、変わってはならないところはどんなところでしょうか。

ただいずれにしても、100年をかけて紡ぎあげられてきた信頼関係と言ってもよいその関係性を、今後も大切に守り受け継ぎ、どこまでいっても私たちは地域のみなさまの幸せのためにあるのだということを忘れずにいたいと思います。

敷地内薬局の工事のため病院玄関への通路が狭くて申し訳ありませんでした。その通路を1,000人の方々が行き来してくださり、たくさんの方からお祝いの言葉をいただき、各イベントやブースでは「100」の数字や言葉が用いられ、無数のゆかりの写真で創られた2メートル四方のモザイクアートにはびっしりメッセージカードが貼り付けられ、お母さまがかつて当院の看護婦(当時)だったという方が大切にしてこられた古いアルバムの中のモノクロの写真を使わせていただいた職員手作りの記念DVDの映像を、多くの方が立ち止まって観てくださり、これからの地域の医療を考えるシンポジウムには会場に入りきれない方がおいでになり、労働組合が用意した記念のボールペンを含め、みなさまなんらかの有形無形の思い・思い出をお持ち帰りいただけたのではないかと思います。こうしてこの日とこの場を共有できたみなさまと、これからの病院・センターの道行きをいっしょに考えていけたらいいなと、朝の八ヶ岳を眺めながら書き綴る今日の私なのでした。



創立100周年記念 第23回 病院祭開催

秋晴れのもと、10月10日に病院祭を開催しました！
創立100周年記念シンポジウムや、医療と福祉について楽しく学べる展示・体験ブース、
お祭り広場など、盛りだくさんの内容で会場はにぎわい、1,000人の方にご来場いただきました。
地域の皆さんと一緒に、笑顔あふれる一日となりました。



創立100周年記念シンポジウム

「諏訪地域の今後の医療はどうなるのか」をテーマに、人口減少が見込まれる2040年に向けて、諏訪地域の医療を守り、救急医療から慢性期医療まで提供し続けるために、地域の病院が連携し、それぞれの役割を果たしていくことの大切さをお伝えしました。

参加者からは、「2040年まではあっという間。他人事ではなく、本気で考えなければいけない」といった、地域医療の未来に真剣に向き合うお言葉をたくさんいただきました。

向って左から、当センター 統括院長 髙木宏明／諏訪保健所 所長 小林良清先生／諏訪中央病院 院長 佐藤 泰吾先生

医療と福祉の展示・体験ブース



お薬作ろう！～元気100倍！～

お菓子を使ったお薬づくりに、こどもたちも興味津々！

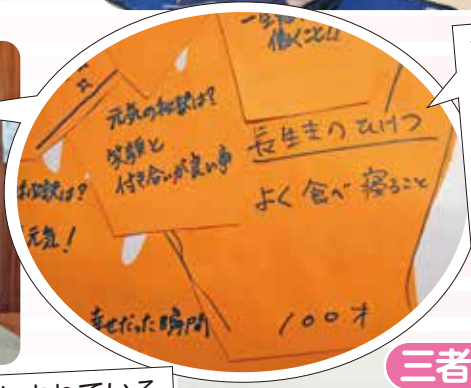
petit心肺蘇生体験



「子どもと一緒に救命について学ぶことができてよかった」というお声があり、親子で命の大切さについて考える機会となりました。

ワン・ハンド【手】レット





施設入所者の皆さん方の手形に、元気の秘訣などを記していただき、貼り合わせて、創立「100周年」の文字が完成しました！ 皆さんの思いが一つになった作品は、病院の100年の歩みを彩り、たくさんのつながりを感じました。



介護施設でも親しまれている「モルック」を病院祭でも体験！ 楽しく頭や体を使え、介護施設ではリハビリやレクリエーションの一環としても活用されています。矢代副統括院長も挑戦し、モルックの楽しさに触れました。

三者三様バイオリン隊

音楽喫茶



美しいバイオリンの音色が会場に響き、華を添えました。

富士見中学校吹奏楽部



「外での演奏は緊張したけれど、皆さんの手拍子のおかげで楽しく演奏できました」と笑顔で話してくれました。

お祭り広場

キッチンカー



おいしいグルメを楽しめるコーナーは、にぎやかな雰囲気に包まれました。
10月に「蓼科珈琲焙煎所」をオープンした当院の元スタッフも出店しました！

ちびっこ広場



お菓子掴みなどを開催！ お菓子をもらったこどもたちは、「お兄さん、お姉さんにお菓子をもらったよ！」と満面の笑みで話してくれました。

久しぶりの再会に、笑顔で記念撮影！

【100周年記念】未来へつなぐメッセージ



創立100周年を記念して制作されたモザイクアートには、来場者の皆さんからたくさんのメッセージが寄せられました。

冬の体調不良に漢方！

こんにちは。今年も、もうすぐ寒い冬が
八ヶ岳の麓にも里にもやってきますね。
今回は、そんな寒い冬によくある体調不良の
予防・治療に用いられる漢方について紹介します。



●整形外科医長 鎌倉 史徳
かまくら ふみのり

寒い冬は「温薬・熱薬」

漢方医学には「寒・熱（かんねつ）」という考え方があります。冬になれば気温は下がり、当然体も冷え、「寒」の状態になりやすくなります。そんな時、漢方薬としては体を温める「温薬・熱薬」を使います。代表的な生薬は**「附子（ブシ）」「乾姜（カンキョウ）・生姜（ショウキョウ）」「呉茱萸（ゴシュユ）」**です。

手足の冷えに伴う腰痛、腹痛、頭痛に有効な**「当帰四逆加呉茱萸生姜湯（とうきしぎゃくかごしゅゆしょうきょとう）」**、お腹の冷えや下痢に有効な**「真武湯（しんぶとう）」「人参湯（にんじんとう）」「大建中湯（だいけんちゅうとう）」**、冷え症の関節痛や神経痛に有効な**「桂枝加朮附湯（けいしかじゅつぶとう）」**などを用いて、体を内側から温めて対応します。





つらい手足の冷えには

寒くなると体の中の血の巡りも低下し、特に手足の末端が冷える状態になりやすくなります。これには「当帰（トウキ）」「芍薬（シャクヤク）」「川芎（センキュウ）」「地黄（ジオウ）」などの「補血薬（血の不足を補う薬）」や、「桃仁（トウニン）」「牡丹皮（ボタンピ）」などの「駆瘀血薬（くおけつやく：血の滞りを改善する薬）」を用います。

これらを含む「当帰芍薬散（とうきしゃくやくさん）」「桂枝茯苓丸（けいしぶくりょうがん）」や、「四物湯（しもつとう）」を含む処方群などから、体力の有る・無しなど体質を考慮した上で、血の巡りが改善するように対応します。







かぜなら葛根湯だけではありません



冬に増加するのが「かぜ」などの感染症です。かぜの引き始め、ゾクゾクと悪寒がしたり熱が上がったりしたときにも、漢方薬が有用です。「葛根湯（かっこんとう）」や「麻黄湯（まおうとう）」は、比較的体力のある方のかぜの初期で、汗が出ていない場合に用います。汗がじわっとにじむ程度の反応が出ると、かぜの症状が早期に改善します。また、葛根湯はかぜだけでなく肩こりにも有効です。

一方、汗がジトジトと出ているようなやや体力のない方には「桂枝湯（けいしとう）」などが候補となります。



また、さらに体力がなく、熱はあまり上がらないけれど寒気やだるさが強い方には「麻黄附子細辛湯（まおうぶしさいしんとう）」で体を温め、体力を回復させる治療をします。

それから、少し時間が経って風邪がこじれた状態になった時は、「柴胡（サイコ）」を含む処方群が適応になってきます。

このように、「かぜ」ひとつとっても、漢方では一人ひとりの状態を考慮して処方が変わってきます。

冬は体調が不安定になりやすい時期であり、特に体力がなくて冷え症体質の方にはつらい時期になると思います。まずは体調を崩さないように適度に体を温め、体を冷やさない工夫をしましょう。そのように十分な睡眠やバランスの良い食事で生活を整えた上で、漢方薬という手段で体調管理をするという考え方もあると思います。健康上のことで気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。





病院トピックス

新任医師を紹介します

2026年10月1日着任

●内科 勝山 貴啓（かつやま たかひろ）



長野県松本市出身です。栃木県の自治医科大学を卒業後、長野県立信州医療センターで初期研修を終了し、諏訪中央病院での勤務を経て、10月より富士見高原病院に赴任いたしました。

ドラマ「Dr.コトー診療所」に憧れて医師を志しました。私も地域に寄り添い、「やさしく、あたたかく、たしかな医療」を届けられる医師でありたいと考えております。

趣味は、温泉巡りやご飯屋さん巡り、自然を眺めることです。こちらにはおいしいお店が多く、豊かな自然にも恵まれており、日々その魅力を感じながら過ごしております。

当院では内科外来・救急外来、入院診療を担当いたします。地域の皆様が安心して暮らせるように、一人ひとりに寄り添った丁寧な診療を心がけ、日々研鑽を積んでまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

●内科 金　智英（キム ジヨン）



今年10月より内科で勤務しております。

今年の上半期は東京の病院で研修をしており、久しぶりに長野へ戻ってまいりました。顔を上げなくても目の前いっぱいに広がる空と、美しい八ヶ岳の景色に、長野で働けることへの感謝を感じながら、毎日出勤しています。

出身は韓国南西部に位置する光州（クァンジュ）というところです。韓国の医学部4年生の冬休みに、偶然のご縁で諏訪中央病院を2週間見学する機会がありました。そこで出会った先生方々が、熱意を持ちながらも心から楽しそうに診療されている姿を見て、「自分もここで働きたい」と思うようになりました。その思いから日本の医師免許を取得し直し、2023年より諏訪中央病院に所属して働いています。

日本に来てまだ3年半ほどで、慣れないことや学ぶべきことも多い毎日ですが、温かい地域の皆様や周囲の方々に支えられ、ありがたいことに日々楽しく働かせていただいています。

これからも、目の前の患者さん一人ひとりに真摯に向き合い、初心を忘れず、しっかりと地に足をつけて、日々の診療に取り組んでいきたいと思います。

まだまだ至らない点も多いかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

［みづうみ診療所 所長・老人保健施設みづうみ］

●総合内科 伏見 智久（ふしみ ともひさ）



初めまして。
10月1日よりみづうみ診療所・老健施設みづうみで勤務しております。これまで長らく長野県内の病院で内科医として地域医療に従事してまいりました。

その経験を活かしてこれからは身近な診療所という場で皆様の日々の健康をサポートしていきたいと考えています。

風邪や発熱といった急な体調不良はもちろんのこと、高血圧や糖尿病などの生活習慣病の治療まで内科全般の診療を行っております。

また病気の治療だけではなく何となく身体がだるい、健康診断の数値が気になるといった普段の生活の中でのちょっとした不安や疑問についても、どうぞお気軽にご相談ください。

私自身日頃から「健康づくり」を趣味としておりまして、休日には諏訪湖の周りを走ったり、泳いだり、食習慣にも注意したりして、心身ともに健やかでいることの大切さを実感しています。

皆様が笑顔で健やかな毎日を送れる様にあたたかい診療をめざしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。





11月 JA長野厚生連医療安全推進月間

JA長野厚生連は、11月を医療安全推進月間と定めて、毎年取り組みを行っています。
今年度の富士見高原医療福祉センターのテーマは「まあいいや確認不足は事故のもと」です。
来院される皆さんが安全安心に受診していただけるように、
確認する事に重点をおき、取り組んでいきます。
そして、医療安全は、患者様やご家族の皆様と一緒に取り組む事がとても大切です。

心配事や
お困りのことが
ありましたら、
いつでもお声がけ
ください。



医療安全キャラクター（Wチェックマン）のご紹介

医療安全において確認する事は最も重要な行為です。
そこで今回誕生したのが、Wチェックマンです。医療安全では、
指さし確認・声だし確認・更に
ダブルチェックの実施を行い、安全な医療の提供を呼びかけていきます。



笑顔あふれる特別な一日！「ひめばら祭り」'26年9月5日（土）

●小規模多機能型居宅介護・グループホーム「ひめばら」（原村上里地区）
〒391-0115 諏訪郡原村17217番地125（もみの湯のそば）TEL：0266-78-3101

賑やかに「ひめばら祭り」が開催されました！当日は、ご利用者様、ご家族様、
そして職員が一緒になって楽しむ充実のプログラムとなり、会場は終始温かい笑顔と熱気に包まれました。

お祭りのスタートを飾ったのは、職員ダンサーズによる軽快なダンス！息の合ったパフォーマンスに、会場からは大きな拍手が沸き起こりました。

続く回想法のコーナーでは、懐かしいイラストを皆様で眺めながら、当時の思い出話に花を咲かせる穏やかな時間が流れます。

そして、お祭りのハイライトとなったのが「富士見太鼓」の皆様による勇ましい太鼓演奏です。お腹に響く力強い音色と迫力満点のパフォーマンスに、皆様じっと聞き入り、演奏が終わるとこの日一番の歓声が上がりました。


御神輿で
にぎやかにスタート


地元 富士見太鼓の皆様


職員も
元気いっぱい
踊ります


神輿を担ぐのは
施設長たち

「ひめばら」では、お祭りのような心が躍る非日常の行事と、
お一人おひとりに寄り添った平穏な日々の生活のどちらも大切にしています。

感謝の20周年～笑顔と共に駆け抜けよう～「さくらの祭」'26年9月19日（土）

●老人保健施設・特別養護老人ホーム「さくらの」（原村中新田）
〒391-0108 諏訪郡原村中新田13220番地1 TEL：0266-70-1222

老人保健施設さくらの、特別養護老人ホームさくらのでは、秋晴れのもと、「さくらの祭り」を開催しました。
長雨が続き天気が心配でしたが当日は晴天に恵まれました！

今年も原村中新田区の区長様や地元原中学校の吹奏楽部の皆様に参加していただき、お祭りを盛り上げていただきました！

また、利用者様とご家族も参加する運動会も行い、笑顔の多い楽しいお祭りになりました。




地元 原中学校
吹奏楽部の演奏


利用者様・ご家族様も
参加の運動会


白熱の
大玉送り！

さくらの祭恒例！


歌って踊れる
介護福祉士
歌手の
茜加代子さんの
歌謡ショー

第15回「みづうみ祭り」'26年9月19日(土)

●老人保健施設「みづうみ」

〒392-0016 諏訪市豊田2400-9(ガラスの里となり)TEL:0266-54-2111

第15回みづうみ祭を、施設の正面駐車場で開催しました。
晴天のもと利用者89名、家族74名が参加し、秋の一大イベントを堪能する機会づくりです。

利用者さんが座ったまま、職員が持つカゴに紅白玉を投げ入れる「玉入れ競技」をユニット対抗で実施しました。また、外国人技能実習生2名がミャンマーの伝統舞踊「水の踊り」を披露し、参加者は魅惑的な異国情緒を体感！　今年は富士見高原病院100周年に合わせて100歳など利用者24名の長寿を祝うため、会場中央に土俵を特設。職員による「奉納相撲」で、式典を締めくくりました。


玉入れ競技


ミャンマー水の踊り


奉納相撲


老健みづうみ施設長井上憲昭と
ミャンマー技能実習生

「笑福！きりとう秋まつり～皆の笑顔 大収穫～」
第7回「きりとうやまびこフェス」'26年10月18日(日)

●老人保健施設・特別養護老人ホーム「きりとう」(辰野町小野)

〒399-0601 上伊那郡辰野町大字小野1290番地5 TEL:0266-46-2041

当日は晴天に恵まれ、御家族55人を始め、元気あふれる演奏をしてくださった地域の方を交え、総勢200名が集まり、盛大に開催することが出来ました。催し物は、東海大会金賞に輝く両小野小学校金管バンド、地域の太鼓連の演奏をはじめ、職員とその子供たちを交えたダンス、書道パフォーマンスなどで、地域と施設が一体となりセンター100周年も祝うことが出来ました。




両小野小学校金管バンドの演奏


地元太鼓連の演奏で華やかに！





富士見高原病院

みんなの健康教室



のどが渇かなくても体はカラカラ？
高齢者の「冬の脱水症」



冬は空気が乾燥しているうえに、エアコンやストーブなどの暖房器具の使用によって体から水分がどんどん失われます。さらに、高齢になると「のどの渇き」を感じにくくなるため、自覚がないまま脱水が進む「かくれ脱水」のリスクが非常に高まります。

「トイレが近くなるから」と水分を控えるのは非常に危険です。水分が不足すると、血液がドロドロになり、脳梗塞や心筋梗塞のリスクも高まります。冬場に気をつけていただきたいことや、予防の基本をお話いたします。





●内科医師（富士見町出身です）
樋口　翔

日時 11月26日（木）15:00～16:00

場所 富士見高原病院 4階第1会議室
富士見町落合11,100番地　JR富士見駅から徒歩7分

●お問い合わせ：富士見高原病院 TEL：0266-62-3030

事前のお申込みは不要です
※富士見町健康ポイント対象教室です

富士見高原医療福祉センター創立100周年
特別記念講演



「遠くの親戚よりも近くの高原病院」
患者さんの立場に立った医療福祉の展開

29歳で内科医長として着任してから48年間、高原病院と共に歩んでまいりました。その後、院長・統括院長として四半世紀、地域住民の皆様の声を聞くこと、信頼されることを常に念頭において務めてまいりました。

100年の節目に今までの道のりと、これからへの期待と在り方についてお話いたします。



●名誉院長 **井上 憲昭**

日時 12月16日（水）15:00～16:30

場所 富士見高原病院 4階第1会議室
富士見町落合11,100番地　JR富士見駅から徒歩7分

●お問い合わせ：富士見高原病院 TEL：0266-62-3030

事前のお申込みは不要です
※富士見町健康ポイント対象教室です

富士見高原医療福祉センター 外来診療医師担当表

ピンクの枠 予約診療 令和8年(2026) 11月1日現在

▼中新田診療所 (諏訪郡原村中新田13221-2)

電話 0266-70-1331

診療科目	診療受付時間	月	火	水	木	金	土 (第1・3週)
内科・神経内科・小児科 ＊物忘れ・頭痛診察…予約制	8:30～12:00	ヤザワ マサノブ 矢澤 正信	丸山 恵子	オオワ マフミ 大和 眞史	岩村 文彦	丸山 恵子	丸山 恵子
	14:00～17:00	マルヤマ ケイコ 丸山 恵子	イワムラ アヤヒコ 岩村 文彦	丸山 恵子	丸山 恵子	大和眞史(第3週以外)	
						エンドウ セイコ 遠藤誠子(第3週)	
整形外科	8:30～12:00 予約制						ゴトウ サトシ 後藤 敏(第3週)
泌尿器科	8:30～12:00	ハラダ カツヒロ 原田 勝弘		原田 勝弘			
こころの診察室	予約制				タカヤマ ナオト 高山 直人		

▼みづうみ診療所 (諏訪市豊田2400-9)

電話 0266-54-2112

診療科目	診療受付時間	月	火	水	木	金	土 (休診)
総合内科・内科・神経内科	8:30～11:30	イノウエ カズアキ 井上 憲昭	フシミ トモヒサ 伏見 智久	伏見 智久	伏見 智久	伏見 智久	
外 科	8:30～11:30		シロタ ヒロシ 代田 廣志				
整形外科	8:30～11:30			ゴトウ サトシ 後藤 敏			
泌尿器科	8:30～11:30					ハラダ カツヒロ 原田勝弘(第1・3週)	

▼みすず診療所 (伊那市美篶7793-1)

電話 0265-71-5556

診療科目	診療受付時間	月	火	水	木	金	土 (第1～4週)
内科・神経内科・小児科	8:30～11:30	アサヌマ ナホコ 麻沼 奈穂子	イノウエ カズアキ 井上 憲昭	麻沼 奈穂子	ヨシヒロ ユウコ 吉廣 優子	麻沼 奈穂子	ヤザワ マサノブ 矢澤正信(第1・4週)
	14:30～16:30	麻沼 奈穂子	井上 憲昭(第1・2・4・5週)	オガワ アキミ 小川 秋實(第1・2・3・5週)	(休診)		(休診)
整形外科	8:30～11:30		コイケ ツヨシ 14:30-16:30 小池 毅			カワカミ ヒロム 15:00-16:30(第4週) 川上 拡	イシガキ ノリオ(第2週・予約制) 石垣範雄
							ヤスダ ガク 安田 岳(第3週)
							オカモト マサノリ 岡本正則(第1・4週)

▼両小野診療所 (上伊那郡辰野町小野1290-20)

電話 0266-46-2017

診療科目	診療受付時間	月	火	水	木	金	土 (第1・3週)
内 科	8:30～11:30	イワワキ トシヤ 岩脇 俊也	岩脇 俊也	岩脇 俊也	岩脇 俊也	岩脇 俊也	岩脇 俊也
	14:30～17:00	岩脇 俊也	イザワ タエコ 伊澤 妙子		伊澤 妙子	岩脇 俊也	
整形外科	8:30～11:30	シモカワ カンイチ 下川 寛一					
神経内科	14:30～17:00		イノウエ カズアキ 井上 憲昭(第3週)	ヤザワ マサノブ 矢澤 正信(第4週)			
消化器内科	8:30～11:30						コマツ オサム 小松 修(第3週)
泌尿器科	8:30～11:30		ハラダ カツヒロ 原田 勝弘				

▼西箕輪診療所 (伊那市西箕輪6700-2)

電話 0265-73-3351

診療科目	診療受付時間	月	火	水	木	金	土 (第2・4週午前)
内科・神経内科 消化器内科・小児科 ＊人間ドック…予約制	8:30～11:30	カラサワ タダヒロ 唐澤 忠宏	唐澤 忠宏	唐澤 忠宏	イノウエ カズアキ 井上 憲昭	唐澤 忠宏	唐澤 忠宏(第4週)
			ヨシヒロ ユウコ 吉廣 優子			イムラ ジロウ 井村 仁郎(第1・3週)	
						フジワラ マリ 藤原 万里(第1・3週)	
	14:30～16:30	カラサワ タダヒロ 唐澤 忠宏	唐澤 忠宏	唐澤忠宏(第2・4・5週)	唐澤忠宏(第1・5週)	唐澤 忠宏	
				ヤマナカ ヤスシ(第1・2・3・4週) 山中康詩	ヤザワマサノブ 矢澤正信(第2・4週)		
					井上 憲昭(第3週)		
整形外科	14:30～16:30		カノウ シュウジ 狩野 修治(第2・4週)		コイケ ツヨシ(第1・2・3・4週) 小池 毅		
泌尿器科	8:30～11:30					ハラダ カツヒロ 原田勝弘(第2・4週)	

富士見高原病院 外来診療医師担当表 ピンクの枠 予約診療 令和8年(2026)11月1日現在

診療受付時間／午前8:20～11:00（診療科により異なります） 予約センター TEL.0266-61-0489 平日…8:30～17:00／第1・4土曜日…8:30～12:30

【時間外および救急受診をご希望の方は、症状を問わず、事前にお電話（代表 0266-62-3030）ください】

診療科目		疾患名	月	火	水	木	金	土（第1・4）
内科	一般内科	総合診療	イトウ キョウコ 伊藤 京子	伊藤 京子	イノウエ カズアキ 井上 憲昭	カラサワ タダヒロ 唐澤 忠宏	井上憲昭（第2・4午後）	井上憲昭（第4週）
			ナカガワ サワコ 中川 佐和子	中川佐和子（午後）	中川佐和子（午後）	ツザキ ヨシヒト 都嵜 祥人	都嵜 祥人	キノタ フミヤ 木野田文也（第4週）
			ヤシロ トシツグ 八代 敏嗣	タカハシ サチエイ 髙橋 佐智衛		髙橋 佐智衛	八代 敏嗣	髙橋 佐智衛
			タカギ ヒロアキ 髙木 宏明	サエグサ ノリコ 三枝 紀子	髙木 宏明	ミズマ サトシ 水間 悟氏		髙木 宏明（第1週）
				イワムラ アヤヒコ 岩村 文彦	岩村 文彦		岩村 文彦	
			ヒグチ ショウ 樋口 翔		サトウ タイキ 佐藤 太紀	樋口 翔	佐藤 太紀	
		禁煙外来 金曜日午後【予約制】	キム ジヨン 金 智英	カツヤマ タカヒロ 勝山 貴啓	金 智英		勝山 貴啓	
	喘息外来	気管支喘息・睡眠時無呼吸症候群など		イシハラ ヒロユキ 石原 弘行（午後）		石原 弘行（午後）	石原 弘行	
	神経内科	神経筋疾患 めまい・ふるえ・しびれ 認知症など	ヤザワ マサノブ 矢澤 正信（午後）	矢澤 正信	矢澤 正信		矢澤正信（午後）	
				ヨシダ トシカズ 吉田 敏一	吉田敏一（午後）	吉田 敏一		吉田 敏一
	消化器科	消化器疾患 胃腸・肝臓・胆管・膵臓		コマツ オサム 小松 修	小松 修			小松 修（第1週）
				タカノ ルミ 鷹野 留美			鷹野 留美	鷹野留美（第4週）
	循環器科	冠動脈疾患 心不全・不整脈弁膜疾患・慢性腎不全 など	ノウミ ヒデトモ 能見 英智			イマイ タク 今井 拓	オタギリ タカキ 小田切 天輝	
	呼吸器科	呼吸器疾患 肺・胸部・慢性呼吸不全・喘息など	スズキ シンコ（月2～3回） 鈴木進子（午後）		イチヤマ タカシ 市山 崇史	ハラ ムネチカ 原 宗央		
	糖尿病 内分泌科	糖尿病・甲状腺疾患・肥満症など	ヤシロ ヤスアキ 矢代 泰章		矢代 泰章	矢代 泰章		矢代 泰章
					アサヌマ ナホコ（午後 麻沼奈穂子 第4週以外）		カラサワ タカユキ 唐澤 崇之	
	腎臓内科	腎臓疾患	イワブチ リョウヘイ 岩渕良平（第2・4週）					
	膠原病内科	膠原病・慢性関節リウマチなど	ミノダ マサヒロ 蓑田 正祐			マツダ マサユキ 松田正之（月1回午後）	蓑田 正祐（第2午後）	
心療科（予約制）		不安・うつ・不眠など	ナカムラ ヒロフミ 中村 寛文	中村 寛文	フジイ ヤスオ 藤井 康男	中村 寛文	山梨県立北病院医師	
小児科 0歳～15歳くらいまで ●予防接種（予約制）		【午後】（予約制） 前日のAMまでにお電話ください	ヤマモト 山本めぐみ	山本めぐみ	山本めぐみ	山本めぐみ	山本めぐみ	信大附属病院医師（午前）
			アキヅキ ミズホ 秋月瑞穂 9:30～	秋月瑞穂 9:30～	秋月瑞穂 9:30～	秋月瑞穂 9:30～	秋月瑞穂 9:30～	
							ヨシエ ハルト 吉江 春人（午後・アレルギー疾患など）	
外科	一般外科	食道・胃・肝臓・胆管・膵臓・大腸などの疾患	イムラ ジロウ 井村 仁郎	ミヤシタ リョウヘイ 宮下 遼平	アダチ ワタル 安達 亙	井村 仁郎		宮下 遼平
	肛門科	お尻の痛み・痔・ストーマ（人工肛門）			安達 亙			
乳腺・甲状腺科		乳腺・甲状腺 乳がん検診後の精密検査など	信大附属病院医師（第2・4週）	ミムラ ヨシカズ（甲状腺） 三村 芳和（第1・3週）		オガワ アキオ 小川 明男（乳腺）		
整形外科	整形一般	手足の外傷・骨折・脱臼・捻挫・リウマチなど全般 リハビリテーション全般	ヤスダ ガク 安田 岳	安田 岳		安田 岳	安田 岳（第1・3・5週）	安田 岳（第1週）
			イシガキ ヨシマサ 石垣 剛正	石垣 剛正	石垣 剛正	石垣 剛正		石垣 剛正
			カマクラ フミノリ 鎌倉 史徳	鎌倉 史徳	鎌倉史徳（第2～5週）	鎌倉 史徳	鎌倉史徳（第2・4週）	
			ワタナベ 渡邊 あや	渡邊 あや	渡邊 あや			非常勤 整形外科医師
			ナガイ リョウスケ 永井 亮輔	永井 亮輔	永井 亮輔	永井 亮輔		
					ゴトウ サトシ 後藤 敏（午後）	諏訪中央病院医師		後藤 敏（第4週）
	手の外科	変性疾患、末梢神経障害、関節リウマチによる上肢の肘から先の疾患 など（予約制）		ナカムラ コウイチ 中村恒一（第1・3午後）				
	肩関節外来	腕・肩など（予約制）						肩関節外来担当医（第4週）
	脊椎外来	脊椎など （予約制）					フタツギ トシマサ 二木俊匡（第2・4週）	
	下肢関節	膝・股関節など（予約制）					サイトウ ナオト 齋藤直人（午後）	
	ペインクリニック	予約制…診療10:00～			テラダ ヨシヒデ 寺田 仁秀			
形成外科		顔面外傷・やけど・切断指再建・眼瞼下垂（まぶたの下がり）・傷あとの治療など	シロタ ヨウイチロウ 城田 陽一朗	城田 陽一朗	城田 陽一朗	城田 陽一朗	城田 陽一朗	城田 陽一朗
皮膚科 受付10:30終了		皮膚科一般（アトピー・水虫・あざ・イボ・タコ）など			信大附属病院医師		信大附属病院医師	
泌尿器科		前立腺・腎臓・膀胱疾患、尿路感染症など		コバヤシ フミタケ 小林 史岳	小林 史岳		小林 史岳	小林史岳（第4週）
						信大附属病院医師		ハラダ カツヒロ 原田勝弘（第1週）
産婦人科（予約制）		婦人科一般 子宮疾患・更年期障害など ●お産・妊婦検診は、行っておりません。	トダ アヤカ 戸田 文香	タカギ ミドリ 髙木 緑	オオノ アキコ 大野 明子		戸田文香又は髙木緑	髙木 緑（第1週）
								トミタ カズヒコ 冨田和彦（第4週）
眼科 ●午前 ●午後 受付13:30～16:00		眼科一般 白内障・黄斑変性症・緑内障 眼鏡・コンタクトレンズ処方など	オガワ ケイコ 小川 恵子	フカザワ アヤコ 深澤 史子	小川 恵子	小川 恵子	小川 恵子	小川 恵子
			山梨大附属病院医師		山梨大附属病院医師	四方 歩		
			サクラダ ヨウイチ 櫻田 庸一（午後）	山梨大附属病院医師（午後）		山梨大附属病院医師（午後）		
				ヨモ アユミ 四方 歩（午後）	四方 歩（午後）	四方 歩（午後）		
耳鼻咽頭科		耳鼻科一般（神経耳下疾患・めまい）など	信大附属病院医師（受付13:30～16:00）		信大附属病院医師（受付13:30～16:00）			信大附属病院医師
放射線科		画像診断（CT・MRI）・血管造影（IVR）など	マツシタ トモヒト 松下 智人	松下 智人	松下 智人	松下 智人	松下 智人	松下 智人
歯科口腔外科		歯科口腔診療全般 ●紹介状お持ちの方のみ（予約制）	コヤマ ヨシト 小山 吉人	信大附属病院医師	小山 吉人	小山 吉人	小山 吉人	小山 吉人

●お支払いは、クレジットカード（VISA・マスター・JCBなど）がご利用いただけます。（月～金…8時30分～17時／第1・4土曜日…8時30分～12時30分）

JA長野厚生連 富士見高原医療福祉センター 富士見高原病院 広報誌 ■高原だより■ 2026年11～12月号 vol.172 1989年（昭和64年）1月1日創刊 隔月刊行誌 通巻第172号 令和8年（2026）11月1日発行
■Eメール soumu.ka@fujimihp.com ［発行人・編集人］■統括院長 髙木 宏明 〒399-0214 長野県諏訪郡富士見町落合11,100番地 ■電話0266-62-3030 FAX 0266-62-5188 ［印刷所］マルモ印刷株式会社